

食品・薬品異物除去

食品・薬品異物除去

マグネット棒	格子形	液体用	パイプ	樹脂成型機用
PCMB…………… 161	PCMG…………… 164	PCMH…………… 167	PCMP…………… 170	PCML-S…………… 170
PCMB-J…………… 162	PCMG-C…………… 165	PCMH2-E…………… 167		
PCMBD-A…………… 163		PCMH2-D-A…………… 168		
PCMB-S…………… 163		PCMH2-D-B…………… 168		
PCMB-K…………… 163		PCMH4…………… 168		
		PCML…………… 169		
		PCMS…………… 169		
		PCMY…………… 169		
プレート	ドラム式	ブーリ式	対極型	
PCMN…………… 171	PCMD…………… 172	PCMR…………… 172	PCMI…………… 172	
PCMN-HU…………… 171				
PCMN-TF…………… 171				

ますます高まる磁性異物除去のニーズ

■ 混入事故を未然に防ぐマグネット機器

近年、食品や薬品の異物混入が大きく報道されるようになり、世間の安全に対するニーズはますます高まっています。

食品や薬品の製造工程では、ミクロン台の微鉄粉でもトラブルの原因となります。また、ステンレス粉は原料中に無くとも、加工ラインを通過する時に、加工機械や配管の摩耗粉が混入するケースもあります。これらのステンレス粉や微鉄粉を吸引・回収するには、ほぼ1 T（テスラ）の磁力を発生する高磁力磁選機器が必要とされます。

高磁力磁選機器にはマグネット棒や格子形、プレート形のほか、高磁力液体用フィルタなど各種あり、それぞれの仕様に基づいて、材質の選定と表面仕上げを行っています。

■ HACCPとは

HACCPとは、食品製造に携わる事業者様が、食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理することで、食品の安全性を確保するための手法です。

カネテックでは、特に磁性異物除去に特化した高磁力磁選機器で金属異物検出工程をサポートします。





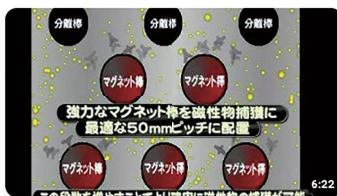
カネテックの磁性異物除去マグネットが選ばれる理由

■高い耐久性

カネテックのサニタリー機器は、食品や薬品の製造工程において不要な抵抗を生じさせないよう、溶接やバフ仕上げなど高品位の表面処理加工を行っております。このため、継続的にご愛用頂けます。

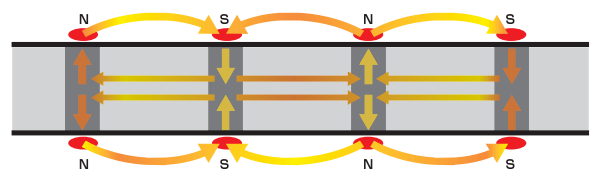
■回収能力を引き出す磁極構造

希土類磁石を応用した高磁力で磁性異物を吸着するマグネット棒ですが、吸着可能範囲は意外と見落とされがちです。マグネット棒は磁極部分に異物が吸着するため、磁極構造の研究が回収性能を左右します。カネテックのマグネット棒は、長年探求された磁石配列により、マグネット棒全体に占める磁石配列を最適化し、より多くの磁性異物吸着を目指しています。豊富なラインアップとユーザーニーズに応える特殊製作が可能です。



紹介動画は
こちらから
ご覧になれます。

マグネット棒の構造・磁力線図 ● 強磁力発生箇所



T o p i c s

ご相談内容

PCMBの最適機種ご提案事例 高温状態で除鉄できる商品のご紹介

海産物加工業者様より、最近海産物の身の中に砂鉄が多く入るようになった、加工ラインの中にマグネット棒を設置し砂鉄を除去したいというご相談でした。

課 題

- ・海産物を炊いた直後の搬送ラインで、高温状態の海産物から除鉄をしたい。
- ・条件に見合う最適磁力の製品を紹介して欲しい。

カネテック からの ご提案

マグネットが高温で減磁する可能性をご存知で、高温状態で効率よく除鉄するための最適な商品を紹介して欲しいというご要望です。

弊社の耐熱高磁力マグネット棒ラインアップを一緒にご覧いただきながらご説明しましたところ、候補は2機種に絞られました。

- ・耐熱超高磁力マグネット 上限温度 240℃ 1T(10000G)
- ・準耐熱高磁力マグネット 上限温度 150℃ 0.8T(8000G)

結 論

高温のまま加工物が流れる箇所に耐熱超高磁力マグネットを配置、加工物が少し冷めるその先に準耐熱高磁力マグネットを配置することとなりました。しっかりと除鉄ができることとなり、食品の安全を守るため現在もご活用頂いております。



高磁力磁選機器の
引合シートはこちらのQRコードから



標準品ラインアップは次のページから